

令和5年度 私立幼稚園教育水準向上支援事業補助「サイエンスショー・その体験を日常の保育に生かす」実施状況報告書

1. 「サイエンスショー・その体験を日常の保育に生かす」の詳細 別紙実施状況の一覧表

- ・くうきほう・ロケット等を制作して、友達と一緒にサイエンスショーで見た内容を実体験してみ、その体験を通して科学実験の最初の体験をし、自分たちなりに意見を出し合い、実体験を充実させた。

2. 「サイエンスショー」の委託業者

(株)サイエンスエンタテイメント

3. 「サイエンスショー・その体験を日常の保育に生かす」の成果

- ・サイエンスショーで使っていたくうきほうやロケットを友達と共に楽しく工夫して制作して、それを使ってサイエンスショーで見た科学実験を自分達で体験する事で、見るのみならず体験により、科学実験の入り口部分を経験して、幼児なりの理解の中、意見を出し合って、次の実験を行うなどして、失敗しても楽しみながら科学実験の一端を体験した
- ・その体験を生かして、科学的思考を培っていくようにした。

4. 「サイエンスショー・その体験を日常の保育に生かす」為の制作実験の予定内容紹介（一部）

・かさぶくろロケット

- ① かさのふくろに空気を入れて、口をテープでしっかりと止めた。
- ② ①をそのまま飛ばすと真っすぐには飛ばない事を思い出した。
- ③ 真っすぐに飛ばすために、色画用紙で、後ろの羽を3個と、前に重りのテープを付けた。
- ④ 羽と重りを付ける事で、真っすぐに飛ぶ体験をした。
- ⑤ 羽をおることで、真っすぐとんだロケットがクルクル回る体験を通して、空気に流れがあることを知り、実験の面白さも体験した。



・くねくねダンサー

- ・赤色セロファンを切っておいた
- ・お湯を張った入れ物にペーパータオルを乗せて、その上に赤色セロファンを乗せて温度と湿気を与えた。
- ・赤色セロファンが温まり湿気を帯びてセロファンが伸びて、くねくねと曲がり、ダンスをするように見える事を体験した。



・空気砲 ①

- ・段ボールはガムテープで止めて穴を開けておいた。
- ・白い布を空間に貼った。
- ・段ボールの側面を叩き、空気が丸い穴から出て、白い布を揺らす事ができるかを体験した。



・空気砲 ②

- ・自分達で絵を描いて的を作り、それに向けて実体験してみた。
- ・なかなか当たらない時もあり、それも実体験したが、空気存在を感じる事ができたようだった。

